

パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2015年10月1日 145号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

第15回国際協力青年奉仕隊特集



パラグアイ川沿岸、最北端の町バイア・ネグラ市の公立小中高校の生徒、教師たちと共に。(9月1日、お別れの感謝会にて)

あなた方は、私たちの町にきた平和の天使です！

第十五回国際協力青年奉仕隊は、予定通り八月二十五日に羽田空港より出発し、パラグアイ共和国、チャコ地方の学校や病院などにおいて奉仕活動をなし、九月十日に全員元気よく帰国しました。隊員たちはいつも笑顔を持ち続け、現地の青少年とすぐに打ち解け、ペンキ塗り、スポーツ、文化交流、植樹活動に仲良く汗を流しました。

彼らの喜々とした姿、熱心で丁寧な作業を通し、校長を始めとする教師、宿泊先の海軍司令官と軍関係者、病院長とスタッフ、住民たちの間に大きな関心と呼び、この町の人々はあなた方を平和の天使だと言っています。という言葉を受けました。今回もまた奉仕隊への篤いご支援をお寄せくださった方々に、改めて深く感謝いたします。

奉仕隊は、首都アスンシオンより二日かけ、長くて困難な未舗装路をバスで走り抜け、二十八日にバイア・ネグラ海軍基地に到着しました。ほこりまみれでバスを下りた隊員たちは、司令官と海軍スタッフの心からの歓迎を受け、軍の宿舎を宿泊先として提供されました。また滞在した五日間、海軍の司厨兵の調理した健康的な食事のおかげで、奉仕活動、文化・スポーツ交流に全力で取り組むことができました。

八月二十九日(土)、学校は休みでしたが、登校した一部の生徒たちと自己紹介、チーム編成をし、中高等学校舎のペンキ塗装のための清掃と、壁の修復、机と椅子の修理と塗装などをしました。

翌三十日、近隣で唯一のクリニックに行き、外壁とベンチを塗装しました。市内のメイン道路からもよく見えるクリニックは見違えるように美しくなり「幽霊屋敷が立派な館に変貌(院長談)」しました。

三十一日は中高等学校の三教室の内壁と外廊下の壁とを、白と茶色にペンキ塗装しました。塗装完了後、フットサル、バレーボール、折り紙教室などで、多くの生徒たちと心の交流をしました。その後、奉仕隊員と先生、生徒が力を合わせ、校庭に穴を掘ってニーム苗を植樹しました。成長が楽しみです。(二面に続く)



塗装後のクリニック。(8月30日 バイア・ネグラ)



クリニック塗装、いざ出陣！



ベンチは木部も当会が新調



クリニック外壁は2色で塗装。あと一塗りで作業完了！



パイア・ネグラめざして疾走



机と椅子を美しく塗装した。



海軍司令官より謝辞と激励



かわいいTシャツもらった！



レダ開拓の歴史が凝縮する公館。内外の美しさにも感動！



ほら、ハートとハート！



パクーの追い込みを手伝う。



動物好きは必見の豚ランド



トゲの木を抜く開拓体験



包丁で魚の内臓を除去する。



大きいパクーを選び分ける。

(二面より続く) また、在大阪市のNPO法人、日本救済衣料センターから預かった衣料品を、パイア・ネグラ小学校・中等高等学校の各校長と、先住民の村ディアンナ小学校の校長を通し、それぞれの生徒たちに届けました。

九月一日の朝、お別れの感謝会では、校長と海軍司令官、および奉仕隊員が相互に相手への感謝の言葉を述べました。そして可愛らしいパラグアイのダンスに続き、奉仕隊が得意の歌とダンスを披露。最後は全員で踊り、抱き合い、別れ難い思いで、レダ基地に向かいました。

レダ基地に到着した一行は、日本と同様の水道水でシャワーを浴び、汚れた衣類の洗濯をしました。元気のよい隊員は早速スイミングプールに飛び込んで、水泳も楽しみました。

二日は、レダにおけるパンタナルプロジェクトの過去、現在、未来について佐野氏より説明を受け、農業、養殖、牧畜ほか、各プロジェクトの現場を巡って見学しました。折りしもパクーの大量注文が入ったため、午後一番で養殖池に入り、パクーの追い込みと収穫、および内臓の除去と洗浄の手伝いもしました。

三日は、開拓体験。斧と鉋を持って藪を開き、大きく鋭いトゲだらけの木々を刈り、整地にする作業です。酷暑の中、筋肉をフル動員し、先人たちの血の滲む努力を象徴的に体験しました。その後、タロイモ水田で、タロイモを収穫、皮を剥いてきれいに洗い、収納しました。

四日は釣り体験。ボートに分乗し、たくさん釣りました。最後は乗馬体験。はじめ馬の背の高さに驚きましたが、自ら手綱を手に取って、人と馬との一体感を楽しみました。レダ基地での四日間は、先輩たちに愛され、指導され、しっかりと未来を考える時間となりました。夕方には貨客船アキダバンに乗り、岸辺で見送るレダ基地のスタッフにいつまでも手を振りながら、二百Km下流のバジエミへと向かいました。(次面に続く)

五日正午、バジェミ港に到着。チャーターしたマイクロバスに乗って、コンセプシオン経由、夜遅く首都アスンシオンに到着しました。

六日はパラグアイの教会を訪れ、日曜礼拝に参列。中庭でお昼を頂き、信徒家族と奉仕隊の交流会で、軽快なダンスや特技を披露しました。

七日は、日帰りで世界遺産イグアスの滝を見学。隣接する鳥の公園と併せ、天地創造の荘厳と優美の世界に目を見張りました。この日はバスに15時間乗る、やや強行の旅でした。

八日、まず全国紙を発行するABC新聞社を表敬訪問。記者の質問に的確かつ感動的に答える隊員たちの顔が印象的でした。その後アスンシオンの中心部まで歩いてショッピング。制限時間まで家族や知人たちにお土産を買いました。そして、アスンシオン空港へ。各自、万感の思いを胸に、機上の人となりました。(小田記)

奉仕隊員の感想文より

●今回、国際協力青年奉仕隊に参加して、自分と向き合う時間を多く持つことができました。また、たくさんの方の自然に触れました。レダでは先輩方と交流することができました。そのことを通して、様々な刺激を多く受けました。自然と動植物たちからは、本当に癒されました。日本では見ることのできないものを見ることができたことは、本当に感謝です。(25歳・女)



タロイモの水田で収穫体験



パラグアイ川のバクーが釣れた！



白馬にまたがり、手綱捌きも颯爽と



また来る明日の晴天を約束しつつ

●様々な活動を通して南米の人々の温かさや明るさに触れて、もっといたいと思つたし、日本に帰国することが寂しく思えました。このパンタナールの地は昔に比べると発達したのだと思いますが、まだ不足している点もあるように感じます。そういったところを補ってより成長できるように手伝える私になりたいです。自分自身の強みを知って活かせる私になりたいとも感じました。(21歳・女)

●レダではしっかりとした浄水システムがありました。しかしパラグアイの首都であるアスンシオンですらまともにそのようなインフラ整備がありませんでした。そこで水環境の整備がとっても重要だと感じました。教育や道徳教育も重要課題であると今回思いましたが、それ以上に水の環境を整備しなければ、人々が健康で長く生き、第一次、第二次産業を発展させることはできないからです。だから水の問題を何とかしなければならぬと思いました。(24歳・男)

●バイア・ネグラでの歩みで、「愛」について深く感じたことがあります。みんなの感想にもあったように、私もバイア・ネグラに奉仕に行つたのに、逆に私たちが愛をいただいているんだ!!”と感じました。そして、その愛に満たされていた自分を発見しました。達成した充実感、仲間との達成感、そして何より与えてくれる愛

に満たされました。それは日本では感じられない愛でした。バイア・ネグラではすべての人が私たちに感謝したり、笑顔で交流してくれたり、すれ違ったときに挨拶してくれました。私は、「神様、なんて素晴らしい世界があるのでしょうか!!」と感動してしまいました。(21歳・男)

●次に、自然を通して感じたことは、壮大な自然の中にいると、その大きさに圧倒されて、レダやイグアスの自然の中にと、人間はとてもちっぽけなもので、自然はとて大きくて、堂々としていて、その中に汚れない美しさを感じました。そしてすべての被造物を通して、神様の大きな愛を感じました。それと同時に自然の厳しさも感じました。レダでの開拓体験から、またバイア・ネグラの村から、自然は簡単に共存できないんだなと思いました。それでも自然から学ぶことはたくさんあるなと思いました。(21歳・女)

●この二週間、「平和とは？」を深く考える期間となったように思います。物質の豊かさだけが幸せや平和ではなく、でも心の豊かさだけが幸せや平和でもなく、その二つがバランスよく中和することが平和に結びつくのではないかと感じました。私たちは「平和」を言葉で語るだけではなく、一人ひとりが平和な世界を築くためにやはり自分の専門分野で活躍し、お互いを尊重しあう心が大切だと感じました。また、現地に行き、現場を知るということも大切だと思いました。(23歳・女)

●私はパラグアイに来て、平和の世界をつくるものを三つほど感じました。一つ目は自然と共に生きる平和です。はじめ、景色はきれいに見えても虫などに葛藤することもありました。しかし嫌いな虫も会話をして行けば心が穏かになり、さほど気にならなくなっていました。また、バイア・ネグラの大きな道を歩くだけでも、心がリラックスして、広々とした自然は人を穏かにすると感じました。(四面に続く)



世界自然遺産、イグアスの滝で



レダから貨客船アキダバンでバジェミへ



最終日のショッピングタイム

（21歳・男）
いい意味でとても揺れ始めました。もつと世界に貢献できる私になりたい！世界で活動するグローバルリーダーになりました。（20歳・女）
今までビデオでしか見たことのなかった世界を自分の目で見て肌で感じました。先輩たちの一心不乱に歩む姿は、時には無謀にさえ思えるけれども、私にとって大きな刺激になりました。将来の自分の展望が、いい意味でとても揺れ始めました。もつと世界に貢献できる私になりたい！世界で活動するグローバルリーダーになりました。

（三面より続く）二つ目は、相手に関心を持ち、自然に愛の思いが出る人々です。平和を作るには、人々の感性がとても重要だと思います。パラグアイの人々はクリスチャンが多いからなのか、日本人がどこかで失った心の豊かさを持っている気がします。それは本当にこの国の宝だと思います。三つ目は、一つの目的に一緒に向かうことです。パラグアイには平和の鍵がいくつもあると思います。（20歳・女）

中田所長が奉仕隊員に激励の講話



帰国したばかりの中田所長が、八月二十四日、青年奉仕隊の出発前の講習に駆けつけて、パンタナール開発プロジェクトの意義と歴史を解説してくれました。所長自身の40年に及ぶ海外活動経験に基く豊富な実例を挙げ、私たちの活動が世界レベルでの地方創生であること、動物や植物の気持ちは分かる人になることの大切さなどを熱く語りました。激励の言葉は「Bigになってください！」

第九回パンタナール一日特別研修会ご案内

第九回パンタナール一日特別研修会を、左記の通り開催いたします。パンタナール地域における人間と動植物の理想郷を目指す福地開発プロジェクトの歩み、その活動を通して得られた知識と経験を共有しましょう。

日時：二〇一五年十一月二十一日（土）

十時三十分～十七時三十分（十時より受付）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟（東京都渋谷区代々木神園町三二）

小田急線参宮橋駅から徒歩七分。バス利用の場合は、渋谷駅西口（14番）または新宿駅西口（16番）より代々木五丁目下車、目の前が正門。

参加費：二〇〇〇円（昼食を含む）当日受付にてお支払いください。

プログラム（予定）

★提唱者の思想と私たちレダ開拓史

★ここまで進んだ地球環境問題

★レダプロジェクトにおける理想郷建設

参加申込は、①名前・フリガナ②年齢③性別④住所⑤電話番号⑥メール⑦紹介者を明記の上、FAX：〇四四・八二九・二八二〇、または

メール：office@asd-nsa.comへお願いします。

会員種別

- ◆会員一口1000円／月 ※口数は申込者が申告
- ◆特別会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告
- ◆法人会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行 00290-5-113072

加入者名：シャ）南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申し込みください。

また、ホームページからもダウンロードできます。

PDF形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.pdf>

Word形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.docx>

一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

メールアドレスが変わっております！

（新）Eメール：office@asd-nsa.com

（新）ホームページ：http://asd-nsa.com